

第4期高知県がん対策推進計画の進捗状況報告資料

高知県	1
高知大学医学部附属病院	7
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	13
県立幡多けんみん病院	18
県立あき総合病院	23
国立病院機構高知病院	28
高知赤十字病院	33
公益社団法人高知県看護協会	38
公益財団法人高知県総合保健協会	40
高知県訪問看護連絡協議会	42
高知県理学療法士協会	43
高知県医師会	44
高知県歯科医師会	45
高知県薬剤師会	47
高知県介護支援専門員連絡協議会	49
高知県ホームヘルパー連絡協議会	50

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少	
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上	
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少	
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下	
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下	
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下	
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加	C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上	D 数値目標の達成率 70%未満
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える	— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	禁煙希望者に禁煙してもらう	・たばこ対策専門部会の開催(書面開催) ・禁煙デー・週間にポスター掲示、高知城ライトアップによる啓発 ・9月に集中して、「高知家健康チャレンジ」による禁煙の呼びかけを実施 ・とさ禁煙サポーター養成講座及びとさ禁煙サポーターフォローアップ研修会の開催(養成講座：R6.9.8、フォローアップR7.2.24予定) ・健康づくりひとくちメモでの啓発 禁煙4回(1月末)	《課題》 ・喫煙率は減少しているものの目標達成に至っていない。 《今後の取組》 ・禁煙支援に携わる医療従事者の養成やフォローアップを行うなど、喫煙をやめたい人がやめることができる環境づくりを推進する。
	生活習慣の改善に向けた取組を進める	・高知家健康チャレンジで節酒「週2日休肝日」、運動「あと15分(約1,500歩)歩こう」、減塩「1日の塩分摂取量マイナス1g」、野菜摂取「野菜、もう1皿(70g)」を啓発 ・ウオーキングイベント等の開催(延べ12,417名参加 4回：12月末) ・健康づくりひとくちメモでの啓発 飲酒4回、運動8回、栄養8回(1月末)	《課題》 ・飲酒、運動、野菜摂取量等の指標は目標を達成していない。 《今後の取組》 ・引き続き総合的な啓発を実施することでよりよい生活習慣の定着を図る。
	感染に起因するがん対策を進める	・肝炎治療の助成(受給者証交付数 11月末現在) インターフェロン治療0件、インターフェロンフリー治療20件、核酸7ナノg 製剤治療285件 ・肝炎医療コーディネーターの養成 研修会の開催(新規養成研修会：2月開催予定 フォローアップ研修会：1月開催予定)	《課題》 ・陽性者へのフォローアップ体制。 《今後の取組》 ・精密検査受診率について、市町村及び各福祉保健所と連携を行うことで受診率向上を図る。
	学校教育におけるがん教育を進める	・がん教育外部講師派遣事業の実施 62校(全62回)派遣予定 ・高知県がん教育推進協議会の開催 1回(10/29)	《課題》 ・地域によっては、外部講師の派遣が難しい場合がある。 《今後の取組》 ・課題について、協議会においてがん教育教材の改訂を行い教員によるがん教育のさらなる充実を図るとともに、関係機関と連携し、引き続き外部講師派遣体制の整備を図っていく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)【再掲】	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率【再掲】	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	-	向上
年齢調整罹患率【再掲】	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	-	減少
がん検診の受診率 (40～50歳代)	肺59.2%、胃41.6%、大腸46.6%、 子宮頸47.4%、乳51.7%	肺61.1%、胃40.7%、大腸48.7%、 子宮頸48.6%、乳52.9%(R5)	D	60%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域)	肺90.4%、胃91.7%、大腸84.6%、 子宮頸80.0%、乳96.6%(R2)	肺88.6%、胃93.0%、大腸83.9%、 子宮頸82.4%、乳93.9%(R3)	D	90%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域・職域)	肺71.4%、胃62.0%、大腸56.6%、 子宮頸57.7%、乳89.9%	肺74.0%、胃59.3%、大腸54.7%、 子宮頸63.6%、乳92.5%(R5)	D	90%以上
市町村チェックリスト実施率	肺90.9%、胃90.5%、大腸89.4%、 子宮頸90.3%、乳90.9%	肺87.8%、胃87.8%、大腸87.3%、 子宮頸87.7%、乳88.2%	D	向上
がん発見率	肺0.04%、胃0.05%、大腸0.11%、 子宮頸0.02%、乳0.29%	肺0.04%、胃0.06%、大腸0.12%、 子宮頸0.03%、乳0.31%(R5)	C	向上
陽性反応の中度	肺3.11%、胃2.02%、大腸2.76%、 子宮頸1.9%、乳7.1%	肺3.43%、胃2.9%、大腸2.67%、 子宮頸2.0%、乳7.9%(R5)	C	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・科学的かつ効率的な受診勧奨を行い、検診受診率が増加している ・精度の高いがん検診が実施されている	がん検診の受診を推進する	・がん検診受診促進事業（市町村補助金）28市町村を支援 検診の個別通知・再勧奨・精密検査未受診者への受診勧奨など ・居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 5日(2/12-3/11) ・テレビCM 100本(9月-11月)、WEB・SNS広告(9-11月)、新聞広告掲載	《課題》 ・がん検診の受診率の目標値に、肺以外の検診が到達できていない。 ・検診受診のための手順や情報入手の方法が複雑になっている。 《今後の取組》 ・がん検診の受診率向上について、市町村検診のデジタル化を推進。 ・夜間検診、コンビニ検診の実施。 ・がん検診日程の検索ができる「がんポータルサイト」の構築。
	がん検診の精度向上を進める	・精密検査未受診者への受診勧奨実施 ・精密検査実施公表医療機関 胃：45医療機関、大腸：41医療機関、肺：15医療機関、子宮頸：15医療機関、乳：10医療機関 (R6.11月末) ・高知県健康診査管理指導協議会の開催 協議会1回開催 部会4回(肺、胃・大腸、子宮、乳)開催 ・子宮頸がん検診ワーキンググループ 1回 ・がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況(R6精度管理調査、集団) A(基準を全て満たしている)：肺2、胃(X線)0、胃(内視鏡)1、大腸1、子宮3、乳1 B(基準の一部を満たしていない)：肺20、胃(X線)22、胃(内視鏡)16、大腸21、子宮20、乳21 C(基準を相当程度満たしていない)：肺8、胃(X線)8、胃(内視鏡)13、大腸8、子宮7、乳8	《課題》 ・精度管理調査結果について、市町村及び検診機関への情報還元及び改善に向けた働きかけが不十分。 ・職域における精密検査受診率が低い。 《今後の取組》 ・精度管理調査の結果、改善が必要と認められる場合は、市町村に検診実施方法の改善を働きかける。 ・職域向けの動画やマニュアルの作成、精密検査実施医療機関の検索ができるがんポータルサイトの構築。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,476件 (R4)	A	増加	S 数値目標の達成率 110%以上
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,056件 (R4)	B	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	—	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	・がん診療連携拠点病院等機能強化事業 補助先:高知医療センター・県立幡多けんみん病院・県立あき総合病院	《課題》 ・中央保健医療圏に拠点病院が集中していることから、周辺圏域の医療機関との機能に応じた役割分担と連携体制の強化が必要。 ・県民がどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制確保が必要。 《今後の取組》 ・がん診療連携拠点病院機能強化事業等で、拠点病院の機能強化にかかる取り組みの支援。 ・各施設毎の治療成績や生存率等の評価を掲載したがんポータルサイトの構築。
	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	・手術療法と薬物療法はすべての二次保健医療圏で提供 ・放射線療法は中央及び幡多医療圏に集約	《課題》 ・手術療法、放射線療法、薬物療法、緩和ケア、口腔ケア等がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成の促進が必要。 《今後の取組》 ・「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」等を通じて、がん診療連携拠点病院等において、がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成。
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	・多職種によるカンファレンスを月1回以上開催するがん診療連携拠点病院等 がん診療連携拠点病院等 4機関 (R6現況報告) 高知県がん診療連携推進病院 1機関 (R5現況報告 (R6現況報告はR7.2月実施予定)) ・がん治療における医科歯科連携に関する研修等 R7年度開催予定	《課題》 ・質の高いがん医療を提供するため、全拠点病院等における多職種によるチーム医療の推進が必要。 ・手術期における口腔ケアの推進が必要。 《今後の取組》 ・拠点病院等とともに、拠点病院等におけるチーム医療の提供体制の整備を進める。 ・医療従事者に対して、がん治療における医科歯科連携の必要性について研修等を行う等、一層の啓発を行う。また、院内歯科のない病院に対して、「高知県におけるがん診療に関わる医科歯科連携マニュアル」の再周知を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活 の場で安心して暮らすこと ができる ・ライフステージに応じた 療養環境への支援が受けら れている	診断時からの適切な緩和 ケアが受けられる	・がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会数1,125人 (R6.12月時点) ・県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数17機関 (R5医療機関がん診療体制調査 (次回はR8年度実施))	《課題》 ・がん医療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを正しく理解し、知識等を習得することで、緩和ケアが診断時から適切に提供されるよう、継続して研修会を実施することが必要。 《今後の取組》 ・引き続き、がん医療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを実践し、その知識や技能を維持・向上できるよう、研修会を開催する。 ・全保健医療圏で緩和ケアに関する研修を修了した医療従事者を増加させるため、引き続き研修の周知に努める。
	在宅療養支援を進める	・がん患者への訪問看護を行っている施設数21施設 (安芸2、中央16、高幡2、幡多1) (R5) ・がん患者への訪問診療を行っている施設数34施設 (安芸3、中央24、高幡5、幡多2) (R5) (R5医療機関がん診療体制調査 (次回はR8年度実施))	《課題》 ・訪問看護、訪問診療ともに中央保健医療圏に集中しており、がん患者が希望する場所で療養支援ができるように、在宅移行支援などの連携体制が必要。 《今後の取組》 ・在宅緩和ケアに関する研修会を開催する。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊よう性温存治療費助成件数 (R6.12月時点) 胚凍結2件、卵子凍結2件、精子凍結1件	《課題》 ・妊よう性温存治療費補助金の情報発信や指定医療機関の拡大が必要。 ・妊よう性温存治療及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制の整備。 《今後の取組》 ・妊よう性温存治療費補助金の啓発用リーフレットの作成。 ・地域がん・生殖医療ネットワークにおいて適切な支援や治療提供のため、連携体制を強化する。
	小児がん患者に対して支援が十分に行われている	・小児がん中国・四国ネットワーク会議へ参加5回 (R6.11月時点) (高知大学医学部附属病院及び高知医療センター医師が参加) ・小児慢性特定疾病対策事業での悪性新生物の認定件数 34件 (R6.10月時点)	《課題》 ・小児・AYA世代のがん患者に対する支援体制の整備が必要。 《今後の取組》 ・若年がん患者の在宅療養に係る費用の助成。 ・小児がん中国・四国ネットワークに参加している高知大学医学部附属病院、高知医療センターを中心として、小児がん拠点病院である広島大学病院をはじめとした同ネットワーク参加病院と症例を共有しつつ、連携の強化に努める。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・拠点病院等の相談窓口における相談件数（R6.9月末時点） 高知大学医学部附属病院369件（面談184件 電話167件 その他18件） 高知医療センター 598件（面談429件 電話169件 その他0件） 幡多けんみん病院 268件（面談213件 電話54件 その他1件） あき総合病院 246件（面談185件 電話60件 その他1件） 高知赤十字病院 221件（面談190件 電話31件 その他0件） 国立病院機構高知病院 138件（面談105件 電話33件 その他0件） がん相談センターこうち213件（面談104件 電話105件 その他4件） 7機関計 2,053件 ・がんサロンの開催件数 79件（予定件数）（R6.11月末時点） ・がんサポートブック改訂版 6,000部 ・がん相談窓口紹介カード改訂 4,800枚 ・がん相談窓口紹介ポスター改訂 310枚	《課題》 ・がん患者が相談窓口を十分認識できていないため、周知において改善が必要。 《今後の取組》 ・がん相談窓口やがんサロン、がんの療養情報等がん患者に必要な情報を掲載したがんポータルサイトの構築。
	治療と仕事の両立支援を進める	・「高知県地域両立支援推進チーム」連絡会議 高知労働局主催（R6.12月時点） ・ハローワークとがん診療連携拠点病院等の連携による出張相談（就労支援ナビゲーター1名）	《課題》 ・がん患者が診断時から治療と仕事を両立させるための情報提供や相談支援を受けることのできる体制整備が必要。 《今後の取組》 ・がんポータルサイトや作成資料等を活用し、相談窓口を周知。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野	高知県
--------	-----

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

※MI比：同一時期のがんの死亡数と罹患数との比（死亡/罹患比）。もし死亡数が罹患数より多ければ、その部位のがん罹患が著しい速さで減少している場合を除いては、登録が完全でないことを示す。

※DCO：死亡票からしか把握されていない症例のこと。DCO症例は正確度（妥当性）が低いと仮定されるので、がん登録データの妥当性を評価する指標の一つとして用いられる。

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	- がん登録推進事業 委託先：国立大学法人高知大学 - 遡り調査 2021年データについて実施 - 全国がん登録における指定診療所数（歯科診療含む）45施設 - 冊子「高知県のがん登録2020年集計」報告書作成	《課題》 - 継続して精度の高い全国がん登録届出体制の整備が必要。 - 県民がどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制確保が必要。 《今後の取組》 - 全国がん登録事業を着実に実行する。 - 各施設毎の診療状況や治療成績等を検索可能ながんポータルサイトの構築。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
高知大学医学部附属病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している。	《課題》 ・患者への啓発不足。感染とがん関連について知識が不十分で、予防意識が浸透していない。 《今後の取組》 ・感染とがん関係や予防の重要性を市民公開講座で周知する。
	学校教育におけるがん教育を進める	・高知県がん教育推進協議会に参加 がん教育のための外部講師として11校へ延べ22人（5名が担当）派遣 ・がん公開講座等を県内の高知市4校、南国市5校、香美市1校、 香南市1校で計11回開催 ・子宮頸がん予防に関する意識を高めるため、HPVワクチン啓発動画を作成。 この動画は、がん教育を実施する際に活用している。	《課題》 ・高知県の地域的特性により、遠隔地での学校では、対面でのがん教育を実施することが、難しい場合がある。 《今後の取組》 ・オンライン形式を活用し、すべての学校で一貫した教育内容を提供できる体制を整えることが重要。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知大学医学部附属病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,476件 (R4)	A	増加	S 数値目標の達成率 110%以上
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,056件 (R4)	B	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	—	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	【放射線部会】 高知がん診療連携協議会放射線治療部会定期会議 対象：（１）都道府県がん診療連携拠点病院（２）地域がん診療連携拠点病院（３）がん診療連携推進病院（４）高知県健康政策部健康対策課 ・第1回会議（Web）：6/10開催 ・第2回会議（Web）：1月中開催予定 放射線治療に携わる医療従事者を対象とした講演会 ・第1回放射線治療部会 講演会「緩和的放射線治療の上手な使い方（聖マリアンナ医科大学 放射線治療学 中村直樹先生）」（11/30開催）参加者35名（現地＋Web開催） ・第2回放射線治療部会 講演会「緩和照射について（仮）」（幅多けんみん病院と共催）（3/7開催予定） 【緩和ケア部会】 第6回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会（11/10）参加人数34人 第3回緩和ケア病棟専門委員会研修会（2/14開催予定） 第4回緩和ケアチーム専門委員会研修会（2/27開催予定） 第7回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会（3/9開催予定） 【がん相談】 高知大学医学部附属病院がん相談支援センター） ・がん専門相談員研修「QA研修（事例検討）」を2025/2/1に開催予定。 ・情報提供・相談支援部会四国ブロック会主催にて「情報支援研修」を2024/11/9に開催した。四国全体で30名が参加し、高知県からは4名が参加した。 【がん薬物療法部会】 ①がん薬物療法部会講演会2回/年（2024/08/19開催済み・●名、企画中） ②がん薬物療法看護WG設立のうえ、講演会2回/年（2024/01/09開催予定、企画中）と各地域の課題を抽出予定。 ③がん薬物療法部会における高知県内のBCPに対する取り組みとして、がん薬物療法を受ける患者さんに対する資料作成を計画 ④がんプロで「がん薬物療法における支持療法と緩和治療」をテーマに、医師・薬剤師・看護師の共通カリキュラム作成し人材育成中	《課題》 【放射線部会】 ①緊急照射に関する県内ネットワーク作り ②緩和的放射線治療のQI（quality_indicator）評価・各拠点病院の緩和ケアチームの力にばらつきがあるとともに、拠点病院以外の施設での緩和ケアチームが少ない。 【がん相談】 ・がん相談支援センターの知名度向上（患者に対しても職員に対しても） 【がん薬物療法部会】 ・質の高いがん医療を提供するため、地域や医療機関、職種の垣根を越えた多職種によるチーム医療の推進が必要 《今後の取組》 【放射線部会】 ・課題①について、骨転移に伴う脊髄圧迫が休日に見じた場合、休日に対応可能な施設をHP等に掲載し、当番制を確立していく。 ・課題②について、入力フォーマットを作成し、各施設へ案内を行い、年度毎にデータをまとめることにより緩和照射の体制整備の指標にしていく。 【緩和ケア部会】 ・次年度は、各施設の緩和ケアチームメンバーが集り、各施設での問題や課題について検討し合う。 ・新しく立ち上がった緩和ケアチームの活動支援を行う 【がん相談】 ・職員認知度の調査を行うことで現状分析と今後の対応の検討を図る。 【がん薬物療法部会】 ・上記課題に対して左記取り組みを行ない、教育の機会を積極的ににつくり、多職種で症例検討しながら、チーム医療の推進を図る

標準的な治療（手術療法・放射線療法・薬物療法）が、質が高く安全に実施されている	【放射線治療】 高知県内において放射線治療に関する研修会の方は少なく、院内外を対象として実施（医師向け10回/年、多職種向け2回/年） 各診療科カンファレンスへ放射線治療科が参加し治療方針の検討 多職種による放射線治療部カンファレンスにて治療完遂を支援 治療方針説明・選択時に看護師が同席を行っている （がん患者指導管理料イ算定） 【irAE対策チーム】 ①irAE対策チームを設立し、拠点病院として院内全体組織での取り組みを開始 ②irAEに対するコンサルト表作成を行ない、IGI使用診療科とirAE対応診療科との連携体制構築を行なった ③IGI開始に伴い、いち早くirAEに対する診断や治療開始できるように検査セット項目の作成を行なった ④irAEへの早期発見・早期対応ができるように、院内統一チェックリストによるトリアージ体制を整備中 ⑤カルテ上もアラート機能による注意喚起ができる体制を整備した	《課題》 【放射線治療部会】 ・一部の診療科のカンファレンスにしか参加できていない 【irAE対策チーム】 ・院内におけるirAEの実態把握が出来ていない 《今後の取組》 【放射線治療部会】 ・現在参加していない診療科カンファレンスの参加の検討 【irAE対策チーム】 ・院内整備後は、院外コンサルテーションができる体制整備の構築を計画していく。
チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	【放射線治療】 骨転移ボード（各診療科、整形外科、放射線治療科、腫瘍内科、緩和ケアチームなどによる多職種カンファレンス） 開催回数19回（4-11月） 30症例（腫瘍内科9件、泌尿器科8件、呼吸器内科6件など） 検討内容（治療方針30件、安静度8件など） 【irAE対策チーム】 ①定期的な運営委員会の開催、院内資材等の見直し、院内におけるirAE発生頻度およびGrade状況の把握ができるようにカルテシステムの構築を行なっている ②irAE対策チーム委員による症例検討を行なうようにした	《課題》 院外からの相談対応 関連部署からの参加人数の伸び悩み 【irAE対策チーム】 院内におけるirAEの実態把握が出来ていない 《今後の取組》 放射線治療部会中心に検討が必要 【irAE対策チーム】 院内におけるirAEの実態把握を行い、irAEの重症化を予防するための取り組みが必要

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等

高知大学医学部附属病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	①PDCAサイクルを確保するとともに、緩和ケアセンター運営会議 2回/年、緩和ケアセンターカンファレンス1回/週を開催し、緩和ケアセンターでの取り組みについて話し合える機会を持っている ②ACP推進のためにテンプレートを作成し、全診療科での活用を開始した ③緩和ケア病棟開設に向けた準備を進めている ・緩和ケア研修会の開催1回 ・緩和ケアセンター・緩和ケアチーム・緩和ケア外来・がん看護外来へ配置がん看護専門看護師4名 緩和ケア認定看護師1名 緩和ケア認定医1名 ・緩和ケアチームの新規介入患者数77人 (24. 4～10) ・緩和ケア外来の年間新規診療患者数25人 (24. 4～9)	《課題》 ②ACPテンプレートの活用がまだ十分行えていない ③大学病院の緩和ケア病棟と地域の緩和ケア病棟との連携の仕方 《今後の取組》 ①リンクナースを中心に、テンプレートの活用を促すとともに、テンプレートを適宜修正していく。また、活用状況を把握し評価する ②地域の緩和ケア病棟および医療施設に出向き、大学病院の緩和ケア病棟の特徴について説明を行い、連携体制を構築していく
	在宅療養支援を進める	・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている	《課題》 ・退院前カンファレンスが全ケースで開催できていない。タイムリーに情報共有ができる機会を増やす 《今後の取組》 ・退院前カンファレンスや情報共有を行う在宅療養支援診療所や訪問看護ステーションを増やすために、情報共有の方法についてもオンラインを活用するなど、連携しやすい方法を検討していく
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊孕性温存に関する説明用チラシを配備するなど院内の体制を整備している ・高知県がん生殖医療部会を開催し、院内だけでなく県内におけるがん生殖医療の実施状況の線数把握をおこなっている ・高知県小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法研究促進事業における指定医療機関の指定を受け、患者が県からの補助を利用できる体制を整備している ・がん生殖医療外来の設置やがん生殖医療チームを結成し、院内で相談対応できる体制や窓口を設けている ・必要に応じて、妊孕性温存治療費の補助金制度の説明をがん相談支援センターにて行っている	《課題》 ・院内での妊孕性温存治療の周知が不十分な可能性がある。 《今後の取組》 ・院内での勉強会を開催し、対応フローチャートも作成していく。 ・市民公開講座なども計画していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
高知大学医学部附属病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	- 相談窓口啓発ポスターを全外来、全病棟に掲示している。 - がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、待合でのビデオ放映、外来や入院のしおり、予約票の裏面などで広報を行っている - がん相談に兼任で関わるMSW11名全員が、国立がん研究センターの相談員研修1,2を受講済み - がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子を常時50種類以上取りそろえ、患者・家族が自由に持ち帰れるよう整備している。また、各冊子の更新日などの情報の鮮度管理を行なっている。 - 高知県で新たに始まったアピアランスケア支援事業及び若年がん患者在宅療養支援事業についてポスター掲示とチラシの配布を行っている	《課題》 ①がん相談事例のモニタリングが十分出来ていない。 ②がん患者が来室しやすい場所にごん相談支援センターが配置されていない。 《今後の取組》 ①電話設備の刷新に伴い、自動音声による電話相談の録音を開始し、定期的な検討を行なう。 ②2025年7月以降に、癌診療を中心に行なうフロアにごん相談支援センターのサテライトを設置し、患者が相談しやすい環境を構築する。
	治療と仕事の両立支援を進める	- ハローワークに月2回出張相談の機会を作ってもらい、患者家族へ広報を行なっている（全外来、全病棟） - 産業保健総合支援センターと提携し、必要時に来院して共に患者支援に当たってもらえる体制を敷いている。 - 産業保健総合支援センターや県立図書館と協力し、両立支援に関する情報発信、図書館での出張相談会を実施している - アピアランスケアに関する啓発資材の作成 - アピアランスケアの患者向け資材の掲示、配布やパネル展示を行なっている - 当院外来化学療法センターの看護師と連携し、アピアランスケアを行っている - アピアランスケアに関する相談103件（R5. 1. 1～12. 31）	《課題》 ①院内で周知されたアピアランスケアに関する相談対応の体制が出来ていない ②アピアランスケアを行える看護師不足 《今後の取組》 ①外来化学療法室の看護師らと連携し、相談対応の体制を整備するとともに院内での周知を行う ②外来化学療法室の全看護師が国立がん研究センターの研修受講予定

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野	拠点病院等 高知大学医学部附属病院
--------	----------------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	・令和6年度がん登録研修会2025年2月もしくは3月開催予定	《課題》 ・参加人数の伸び悩み 《今後の取組》 ・多くの実務者に参加してもらうために、約1週間の完全オンデマンド配信を企画、実施し参加人数の増加を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少	
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上	
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少	
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下	
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下	
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下	
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5%、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加	C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上	D 数値目標の達成率 70%未満
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える	— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣 が改善している ・がんの原因となる感染症 が抑制されている	感染に起因するがん 対策を進める	・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している。	《課題》 — 《今後の取組》 ・現在の施策を継続。
	学校教育におけるがん 教育を進める	・高知県がん教育推進協議会に参加。 がん教育のための外部講師として、6校へ医師、看護師、薬剤師を7人派遣。 ・県民を対象（どなたでも参加可能）とした、がん公開講座を梶原町、安芸市、高 知市で各1回、県外講師を招いての特別講演会を高知市で1回、計4回開催。	《課題》 — 《今後の取組》 ・現在の施策を継続。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2%(R5)	72.2%(R5)	－	向上	
手術療法実施件数	3,464件(R3)	3,476件(R4)	A	増加	S 数値目標の達成率 110%以上
放射線療法実施件数	1,105件(R3)	1,056件(R4)	B	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件(R3)	－	－	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					－ 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	・がん診療連携協議会各部署が企画する研修会に参加。 ・その他、症例検討会、勉強会に参加。	《課題》 － 《今後の取組》 ・現在の施策を継続。
	標準的な治療（手術療法・放射線療法・薬物療法）が、質が高く安全に実施されている	・全職種を対象とした院内研修会（eラーニング）を実施1回。	《課題》 － 《今後の取組》 ・現在の施策を継続。
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	・R6年度がんサージカルボード開催回数13回・検討症例16症例。（2024.11月末時点） ・定期的に、緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームのミーティングを実施し、各患者に必要な治療やケアについて議論。	《課題》 ・がんサージカルボードでは、がんゲノム治療のための検体出検の可否に関する検討が多く、治療法の検討や患者の社会的、倫理的問題に対する検討が少ない傾向にある。 《今後の取組》 ・がんサージカルボードの在り方に関する情報共有や周知を徹底して、がん治療に関する幅広い問題の議論がなされるよう促していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	・PDCAサイクルを確保するとともに、緩和ケアセンター運営会議を4回/年、緩和ケアセンターカンファレンスを2回/週を開催し、緩和ケアセンターでの取り組みについて話し合える機会を持っている。 ・緩和ケア研修会の開催1回。（2025年1月26日開催予定） ・緩和ケアセンター・緩和ケアチーム・緩和ケア外来にがん看護師を配置。がん看護専門看護師2名、緩和ケア認定医1名 ・全てのがん患者への疼痛スクリーニングを継続的に実施。 ・症状緩和基準を作成し、イントラネットで共有。	《課題》 ・国や県の要望・要求通りには人的資源の確保が難しい。 《今後の取組》 ・引き続き、がんセンター長より病院幹部に人的資源の必要性を説明し、理解をはかる。
	在宅療養支援を進める	・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションとの退院前カンファレンスを開催し、退院後も適宜情報共有を行っている。 ・地域医療センター、地域連携室と情報共有・共働している。	《課題》 — 《今後の取組》 ・現在の施策を継続。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊孕性温存に関する説明用チラシや対応フローチャートの作成、院内掲示等により、院内の体制を整備している。 ・高知県小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法研究促進事業における指定医療機関の指定を受け、患者が県からの補助を利用できる体制を整備している。 ・不妊治療認定看護師が横断的に活動中。	《課題》 — 《今後の取組》 ・現在の施策を継続。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
高知医療センター

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者に役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・相談窓口啓発ポスター、カードを院内に掲示。 ・がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院案内ビデオ、入院のしおりなどで広報を行っている。 ・相談員 7名（看護師 2名、専従 MSW 1名、専任 MSW 1名、その他 MSW 3名）中7人が国立がん研究センターの相談員研修受講済み。 ・高知がん診療連携協議会に情報提供、相談支援部会に参加。相談員向け研修会の2025年2月開催分に参加予定。 ・がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子を取りそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備。 ・がんサロンを再開。	《課題》 ・人的資源の有効活用 《今後の取組》 ・現在の施策を継続 ・地域医療センターや患者支援センターとの共働。
	治療と仕事の両立支援を進める	・アピアランスケアに関する啓発資料の作成。 ・アピアランスケアに関する相談11件。（R5.1/1～12/31実績） ・アピアランスケアチームの定例会を月1回開催。（2023年度より） ・院内でのアピアランスケアに関する窓口を設置し、院内周知をした。 ・関連部署への部署研修（勉強会）を実施。 ・ウィッグコーナーの設置場所やレイアウトなど見直し中。 ・高知がん診療連携協議会に情報提供、相談支援部会の出張がん相談に参加し社労士等とともに相談対応した。	《課題》 ・患者自身、また院内のアピアランスケアに対する認知度がまだまだ低い。 《今後の取組》 ・研修会や勉強会の開催、院内の広報活動を通じて認知度を上げていく。 ・必要に応じて、ハローワークや産保センターの出張相談につなげる。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野	拠点病院等 高知医療センター
--------	-------------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	・2025年2-3月に、がん登録研修会の開催を予定。 ・ホームページで、がん5年生存率を公開。 ・ホームページで、当院のがん登録件数を公開。	《課題》 ・昨年度のがん登録研修会への参加人数の伸び悩み。 《今後の取組》 ・オンデマンド配信等も利用して、がん登録研修会への参加人数の増加をはかる。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
高知県立幡多けんみん病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している	《課題》 — 《今後の取組》 ・継続
	学校教育におけるがん教育を進める	●高知県がん教育推進協議会に参加 ●がん教育のための外部講師として派遣 ・緩和ケア認定看護師を23校へ派遣 ・院内認定がん教育外部講師育成コースを開設し、今年度看護師1名が受講（カリキュラム：がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会受講、がん教育見学2校、がん教育実施4校など）し、人材育成を行っている。	《課題》 ・学校教員主体のがん教育の実施 《今後の取組》 ・院内認定がん教育外部講師育成コース修了者を含めた外部講師としての活動。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野	拠点病院等 高知県立幡多けんみん病院
----------	-----------------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,476件 (R4)	A	増加	S 数値目標の達成率 110%以上
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,056件 (R4)	B	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	—	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	- 資格制度の取得と更新（各分野専門看護師、各分野認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師、がん病態栄養専門管理栄養士） - 乳がん看護認定看護師が週に1日乳腺外来で勤務 - 薬事ニュースの発行：薬剤の服薬管理や副作用対策等、情報共有や啓発を行う	《課題》 - 地域の医療機関との連携 《今後の取組》 - 継続
	標準的な治療（手術療法・放射線療法・薬物療法）が、質が高く安全に実施されている	- がん薬物療法認定看護師による、院内IVナース育成コース、フォローアップ研修の開催 - がん看護専門看護師による、意思決定支援の勉強会の開催 - がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催（医師6名、看護師2名参加） - 令和6年度 質の高いがん看護実践を検討する会への参加（6/8、1/25） - 院内や地域の医療従事者を対象とした、がんの勉強会の開催（予定 1/21：irAEについて 3/7：緩和的放射線療法）	《課題》 - テーマ（がんに限らず）を問わず、時間外での研修参加者数が減少している。 《今後の取組》 - がん医療に関わる各職種が積極的に研修に参加する。 - がん診療連携協議会各部会が企画する研修会の広報
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	●がんサージカルボード開催回数7回・参加人数269人 - 定期的に、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、認知症サポートチーム、NSTなどの専門チームのミーティングを実施。 - 認定看護師やがん看護専門看護師、家族支援専門看護師などへの相談や専門チーム間での連携を図り、各患者に必要な治療やケアについて検討	《課題》 - がんサージカルボードへ多職種が参加し多角的な検討の場とはなっているが参加者が固定しつつある。より多くの医療者の参加が望ましい。 《今後の取組》 - 事例提示の声掛けと広報

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等

高知県立幡多けんみん病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	●専門職種が協働しながら、患者と家族への治療や看護を実践 緩和薬物療法認定薬剤師2名 がん看護専門看護師1名（看護部） 緩和ケア認定看護師1名（緩和ケア支援室） がん薬物療法認定看護師2名（外来治療室） 乳がん看護認定看護師1名（病棟、週1日：外来） ・緩和ケアチームの新規介入患者数75人（非がん疾患患者への介入は増加） ●幡多ふれあい医療公開講座：住民を対象にがんに関する講演を2演題実施 ・6/2 幡多けんみん病院「けんこう祭り」：講演「病気のことについて家族で話し合う大切さ」講師「幡多けんみん病院 家族支援専門看護師 野町磨意」参加者44名 ・12/8 大月町農村環境改善センター：講演「縁起でもない話、してみませんか？～人生会議のススメ～」講師「くもん社会福祉事務所 社会福祉士 公文理賀」参加者57名 ●がんの学び舎：講師が各市町村へ出向き、がんについての講演2回実施 ・7/7 四万十市小西ノ川集会所：参加者12名 ・11/9 宿毛市坂本多目的集会所：参加者22名	《課題》 ・人材不足（緩和ケア担当医師の交替や薬剤師不足） 《今後の取組》 ・多職種との協働の継続
	在宅療養支援を進める	・訪問診療の医師や訪問看護ステーション等と退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている。 ・退院前、退院後の在宅への訪問（院内多職種、在宅スタッフの同行）	《課題》 — 《今後の取組》 ・継続
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊孕性温存に関する医療従事者向けの資料はあるが、住民への説明用チラシ、対応フローチャートの整備ができていない。	《課題》 ・住民向けの説明用チラシ、対応フローチャートの整備 《今後の取組》 ・がん診療委員会で協議する

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等

高知県立幡多けんみん病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・相談窓口啓発ポスター、カードを院内掲示 ・がん相談支援センターについては病院ホームページ、入院の案内などで広報を行っている ・相談員4人中3人が国立がん研究センターの相談員研修受講済み ・がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子、がんの小冊子幡多板をそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備	《課題》 ・設備上、がん相談支援センターを必ず立ち寄ることは難しい。相談窓口の広報や個別な支援の継続が必要 《今後の取組》 ・高知がん診療連携協議会情報提供相談支援部会における活動と取組を継続。
	治療と仕事の両立支援を進める	●アピアランスケア ・アピアランスケアに関する啓発資料作成：乳がん看護認定看護師（①乳房の手術を受けた方への下着、パッドのアドバイス②乳房の手術を受けた方へ③きれいな外観を保つための工夫について） ・上記パンフレットを使用し、アピアランスケア、生活指導を個別に実施 ・外来治療室にも各種資料を設置 ●両立支援 ・両立支援の冊子を設置 ・療養就労両立支援指導料の算定対象となるケース1件あり	《課題》 — 《今後の取組》 ・一般的な情報提供と個別な相談支援を継続

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野	拠点病院等 高知県立幡多けんみん病院
--------	-----------------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	・がん登録研修会の開催1回（令和7年2月もしくは3月 開催予定）	《課題》 ・がん登録研修会を実施しているが参加者数が減ってきている。 《今後の取組》 ・研修会については、約1週間のオンデマンド配信を企画、実施し参加人数の増加を図る。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している	《課題》 ・特になし 《今後の取組》 ・継続
	学校教育におけるがん教育を進める	・実績なし	《課題》 ・地域の学校との情報共有、機会を設ける 《今後の取組》 ・がんの正しい知識の啓蒙と、健康と命の大切さについて学ぶ機会の提供に努める。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2%(R5)	72.2%(R5)	－	向上	
手術療法実施件数	3,464件(R3)	3,476件(R4)	A	増加	S 数値目標の達成率 110%以上
放射線療法実施件数	1,105件(R3)	1,056件(R4)	B	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件(R3)	－	－	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					－ 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	・症例検討会（月1回）・参加人数20人/回程度 ・全科医師によるモーニングカンファレンス（毎日） ・医師等を対象とした緩和ケア研修会の開催（R7.2.9開催予定）	《課題》 ・医師等を対象とした緩和ケア研修会の参加人数の確保が難しいため、共同開催を含めて開催方法の検討が必要。 《今後の取組》 ・他の拠点病院と協議して、共同開催を含め、開催を継続する。
	標準的な治療（手術療法・放射線療法・薬物療法）が、質が高く安全に実施されている	・職員を対象とした院内研修会の開催7回（がん免疫療法、CVポート管理、栄養管理体制、経腸栄養など）	《課題》 ・参加人数の確保 《今後の取組》 ・eラーニング等も活用し、集合研修に参加できないスタッフや自身の振り返り等でいつでも研修が受講できるよう環境整備を行う。
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	・がんサージカルボード開催回数3回・参加人数20人/回程度 ・定期的に、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームのミーティングを実施し、各患者に必要な治療やケアについて議論 ・各科リレー研修による職員対象の勉強会開催（隔月開催）	《課題》 ・多職種での参加人数の確保 《今後の取組》 ・継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等

あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	・緩和ケア研修会の開催1回 (R7.2.9予定) ・緩和ケア等がん看護専従職員の配置 がん看護専門看護師1名 ・地域住民を対象としたミニ講座の開催3回 (予定) ・緩和ケアチームの新規介入患者数34人 ・緩和ケア外来の年間新規診療患者数30人	《課題》 ・人員が充足しているとは言えない。 《今後の取組》 ・継続
	在宅療養支援を進める	・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている	《課題》 ・在宅療養を提供できる医療機関等が多いとは言えず地域への調整が難しい場面がある。 《今後の取組》 ・地域の医療従事者を対象とした研修会を開催し地域の体制強化に繋げる。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊孕性温存に関する説明用チラシを院内掲示するなど情報提供を行っている	《課題》 ・妊孕性温存療法を行える体制がないため、連携先の医療機関に紹介して対応している。 《今後の取組》 ・継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
あき総合病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・相談窓口啓発ポスター、カードを院内掲示 ・がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院のしおりなどで広報を行っている ・全ての相談員が国立がん研究センターの相談員研修受講済み（5名） ・がん情報サービス等の冊子を患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備	《課題》 ・冊子や書籍等に関して選定基準が定まっていない。 《今後の取組》 ・選定基準を定めて計画的な書籍整備を実施する。
	治療と仕事の両立支援を進める	・アピアランスケアに関する啓発資材の作成 ・アピアランスケアに関する相談0件	《課題》 ・拠点病院で初期治療後のケアを行うことが多いため、アピアランスケアに関わる頻度が少ない。 《今後の取組》 ・継続

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野	拠点病院等 あき総合病院
--------	-----------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	・ホームページで理解促進に向けた啓発実施 ・がん登録の状況を院内に周知。 ・初期研修医を対象とした院内がん登録に関する研修会の開催 1回/年（R6年度 4名）	《課題》 ・がん登録データの活用までは行えていない 《今後の取組》 ・現場へのフィードバック等含めた取り組みを検討していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・啓発：SRHセミナー 指導者のための避妊と性感染症予防セミナー（主催・講師） ・妊産婦に対し、必要な検査を実施。産後も検査の重要性を指導している ・検診後紹介された患者への治療の実施 ・2024/11/7 市民公開講座「子宮頸がんとヒトパピローマウイルス」を実施した ・肝炎ウイルス 精査、経過観察	《課題》 ・地域へのさらなる働きかけ 《今後の取組》 ・地域への働きかけについてHP等で掲示
	学校教育におけるがん教育を進める	・PRINK高知県思春期相談センター（1回/月） ・高知県教育委員会より「性教育出前授業」 11/8 高知商業高校定時制 1/31 鏡中学	《課題》 行政と連携し出前研修等システム整備 《今後の取組》 HP等を利用し、広く一般（学校等も含み）に対しがん教育の出前研修を受け付ける仕組みを構築する

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等
国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,476件 (R4)	A	増加
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,056件 (R4)	B	増加
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	—	—	増加

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	・地域の医療機関との緩和ケア事例検討会の開催 (R7 1月開催を検討) ・がんサロン7月より再開 (7月・9月・11月・12月実施) ・セカンドオピニオン対応 ・市民公開講座 開催 11/7 市民公開講座「子宮頸がんヒトパピローマウイルス」すみ 2月 市民公開講座「肺がんについて」開催予定 ・高知病診連携フォーラム10回/年 がんに関するテーマ1回 9/7 「外科と栄養」	《課題》 ・地域の医療機関との計画的な症例検討会の開催 (コロナで定期開催ができていなかった) 《今後の取組》 ・事例検討会の定期的な開催について、高知西地区の関連施設と連携を行うことで定期開催を図る。
	標準的な治療(手術療法・放射線療法・薬物療法)が、質が高く安全に実施されている	・がん化学療法委員会(レジメン改定含め) 1回/会 ・緩和ケア委員会(1回/会) ・乳腺チーム(多職種)立ち上げ ・看護職員を対象とした院内研修会の開催 がん性疼痛看護専門コース 4回 レスキュードーズ研修 2回 抗がん剤ボトル交換研修 2回 IVナース研修 1回 ※がん化学療法専門コースは2年に一度実施(今年度休会)	《課題》 ・がん治療の日々進歩に対応していく 《今後の取組》 ・委員会やカンファレンス等で情報の共有を図ることで対応していく
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	・がん化学療法委員会 呼吸器系 1回/週 消化器系 1回/週 開催 ・多職種連携カンファレンス:PCTカンファレンス NSTカンファレンス 退院調整カンファレンス等 ・特定行為看護師がん治療のチームに参画	《課題》 ・特定行為看護師のチーム医療への参画 《今後の取組》 ・カンファレンス等に組織的に特定行為看護師が能力を発揮しているような仕組みづくりを行う

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等

国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	・外来からの早期介入のためがん相談が介入している。 ・がん相談予約システムを導入 ・緩和ケア委員会を年6回開催し情報共有を行っている がん性疼痛看護認定看護師1名 ・緩和ケア認定看護師来年度1名見込み ・がんサロン7月より再開 地域住民を対象としたミニ講座の開催 ・ACP導入 ・緩和ケアチームの新規介入患者数35人	《課題》 ・がんにかかわる専門職員・リンクナース等の育成 《今後の取組》 ・緩和ケアリンクナース会でリンクナースへのがん看護教育を行うことで、各部署でコアメンバーとして活動を図る 認定看護師・特定行為看護師の育成
	在宅療養支援を進める	・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーションと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている ・外来から在宅支援診療医と訪問看護を導入し、在宅見取り支援を行っている	《課題》 ・退院カンファレンスの件数（コロナの影響もある）が減っている 《今後の取組》 ・感染対策を行うこと、またWebを介しての開催等を行いカンファレンス実施できる体制を作る
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊孕性温存に関する説明用チラシを関係各所に配布 ・高知県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業に患者が県からの補助を利用できるよう説明ができる体制を整備している ・AYA世代のがん相談件数 2件 （12月末現在）	《課題》 妊孕性にかかる相談件数がない 《今後の取組》 妊孕性についての相談窓口を統一する

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等

国立病院機構高知病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・相談窓口啓発ポスター、カードを院内掲示 ・がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院のしおりなどで広報を行っている ・相談員4人中1人が国立がん研究センターの相談員研修受講済み ・認定がん専門相談員0名 ・相談員向けの研修会に参加する ・がん情報サービスやキャンサーネットジャパンの冊子、高知県発行の冊子を取りそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備	《課題》 ・がん相談員の育成 《今後の取組》 ・積極的に研修等の参加を行うことを呼び掛けることで人員の増加を図る。
	治療と仕事の両立支援を進める	・両立支援に関する相談 2件 ・高知県産業保健総合支援センターとの協働 ・アピアランスケアに関する啓発資材の作成 ・高知県のアピアランス助成事業に関する説明実施 ・アピアランスケアに関する相談10件 ・アピアランスケアをテーマにしたミニレクチャー（がんサロン）1回開催	《課題》 ・両立支援についての周知 《今後の取組》 ・両立支援についてポスター掲示等を行うことで窓口を明確化し、宣伝を行い件数増加を図る。高知県産業保険総合支援センターとの協働を図る

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野	拠点病院等 国立病院機構高知病院
--------	---------------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	・ホームページで理解促進に向けた啓発実施。 ・がん登録部門体制を刷新。 従前の1人体制から診療情報管理士（常勤）3名体制とする。	《課題》 ・院内がん登録規程の見直し及び更新。 ・全国がん登録の精度向上の為、人員配置を適宜検討する。 《今後の取組》 ・院内がん登録規程に則り、がん登録委員会及び院内がん登録研修会を開催する。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

拠点病院等
高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少	
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上	
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少	
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下	
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下	
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下	
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加	C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上	D 数値目標の達成率 70%未満
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える	— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	感染に起因するがん対策を進める	・診療の中で適宜感染症検査を実施し、陽性者には指導や受診勧奨を実施	《課題》 ・特になし 《今後の取組》 ・感染症検査及び指導や受診勧奨の継続
	学校教育におけるがん教育を進める	・学校教育におけるがん教育は特に取り組んでいない ・県民対象のがん医療公開講座は高知市、佐川町で2回開催、参加者計95名 ・院内でいきいき健康教室を開催し、その中でがんをテーマに講座を開催 参加者6名。 ・地域に出向いて行うミニ講座はがん関係の申し込みなく開催なし	《課題》 ・学校教育におけるがん教育は取り組んでいない 《今後の取組》 ・県民対象の公開講座、いきいき健康教室、ミニ講座を継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野	拠点病院等 高知赤十字病院
----------	------------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	
手術療法実施件数	3,464件 (R3)	3,476件 (R4)	A	増加	S 数値目標の達成率 110%以上
放射線療法実施件数	1,105件 (R3)	1,056件 (R4)	B	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
薬物療法(外来化学療法)実施件数	21,947件 (R3)	—	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている	拠点病院等の機能充実が図られる	・高齢者機能評価を行う体制の整備 ・地域の医師会と共催でがん訪問カンファレンスを行い、多職種に参加いただき連携を強化 開催回数2回・参加人数86人（今後2回予定あり） ・がん薬物療法認定看護師を1名育成中	《課題》 ・高齢者機能評価は一部患者にしか実践できていない 《今後の取組》 ・高齢者機能評価を周知徹底していく
	標準的な治療（手術療法・放射線療法・薬物療法）が、質が高く安全に実施されている	・がん症例検討会開催8回・参加人数245人（月1回開催） ・全職員を対象とした院内研修会（がん医療・緩和ケア研修）の開催8回、参加者数244名（今後3回予定あり） ・腫瘍内科外来を週1回行い、コンサルテーションしやすい体制	《課題》 ・院内研修への参加者が少ない 《今後の取組》 ・研修は実際に生かせる内容になるよう企画する ・腫瘍内科に積極的にコンサルトしていくよう働きかける
	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	・各部署で適宜多職種によるカンファレンスを行っている。 ・定期的に、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームのミーティングを実施し、各患者に必要な治療やケアについて議論 ・がん症例検討会開催8回・参加人数245人（月1回開催） ・地域の医師会と共催でがん訪問カンファレンスを行い、多職種に参加いただき連携を強化 開催回数2回・参加人数86人（今後2回予定あり）	《課題》 ・緩和ケアチームは主に活動する医師が非常勤である 《今後の取組》 ・がん症例検討会、がん訪問カンファレンスの継続

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

拠点病院等

高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	・「生活のしやすさに関する質問票」を用いて苦痛のスクリーニングを行い必要時緩和ケアチームにつなげる体制にしている ・緩和ケアに関する院内研修の開催5回 ・がん看護専門看護師3名・緩和ケア認定看護師1名他を緩和ケアチーム・がん相談へ配置	《課題》 ・緩和ケア医師は非常勤である ・病棟所属のがん関係の専門・認定看護師は主に活動日のみの活動となっている。 《今後の取組》 ・緩和ケア医師はできるだけ主治医と直接コミュニケーションを取ることを継続していく。 ・専門・認定看護師の介入はローテーションの体制としており、引継ぎを徹底することで継続した介入ができるようにしていく。
	在宅療養支援を進める	・在宅療養支援診療所の医師や訪問看護ステーション、ケアマネジャーと退院前カンファレンスを開催したり、退院後も適宜情報共有を行っている	《課題》 ・患者・家族に対し情報提供が十分行えていない 《今後の取組》 ・早い時期から情報提供を行い、タイミングよく支援できるように介入していく。
	生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている	・妊孕性温存に関する説明用チラシ、対応フローチャート、院内掲示をするなど院内の体制を整備している ・高知県妊よう性温存治療費補助金交付について説明できる体制としている	《課題》 ・該当者が少ないことからスタッフの意識が徹底できていない可能性がある 《今後の取組》 ・必要な患者に情報提供が抜からないようスタッフ教育を行い意識付けをしていく

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

拠点病院等
高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・がん相談支援センターについては病院パンフレットやホームページ、入院案内ビデオ、入院のしおり、院内掲示などで広報を行っていたが、さらにがん診断後の患者に看護師からチラシを手渡しするようにした。 ・相談員6人中4人が国立がん研究センターの相談員研修受講済み ・認定がん専門相談員1名 ・相談員向けの研修会に参加 ・がん情報サービスや、高知県発行の冊子を取りそろえ、患者・家族が必要時に持ち帰れるよう整備 ・高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会に参加。 ・がんサロンの開催場所・開催時間の見直し ・がん患者の自殺リスクへの対応マニュアルの見直し	《課題》 ・がん相談支援センターを自発的に利用する方は少ない。 ・がんサロン参加者が少ない ・自殺リスクに対しマニュアルに沿って対応はまだ不十分 《今後の取組》 ・外来看護師から声掛け、チラシを手渡しする取り組みを継続する。 ・がんサロン参加者を増やす活動を継続 ・自殺リスクへの対応について周知徹底していく
	治療と仕事の両立支援を進める	・両立支援コーディネーター研修修了者4名に増加 ・一部の科では、がん診断後の患者にMSWが面談を行い仕事についてもアセスメントしたり必要時情報提供している。 ・アピアランスケアに関する相談に女性専用病棟で対応している。	《課題》 ・両立支援コーディネーター研修を修了したMSWが少ない。 《今後の取組》 ・MSWに両立支援コーディネーター研修を受講するよう働きかける。

第4期 高知県がん対策推進計画における各関係機関の取組状況

4 基盤分野

拠点病院等

高知赤十字病院

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上 A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
MI比	0.39(2019年値)	0.41(2020年値)	—	0.5以下	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満 C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
DCO	1.1(2019年値)	1.2(2020年値)	—	10%以下	D 数値目標の達成率 70%未満 — 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・全国がん登録の精度を高めることができる	がん登録届出体制の整備を推進する	・新任医師（研修医含む）に向けた研修（医師16名、研修医11名） ・医師事務作業補助者への研修 参加者20名 ・がん登録実務者の育成 ・ホームページへがん登録集計の掲載（2012年予後症例、2022年症例（集計中）） ・がん登録部会研修会への参加予定	《課題》 ・cTNMの記載漏れがある。 ・医師に向けた研修の継続 《今後の取組》 ・cTNMの記載について、医師に周知を行い記載がない場合、個々に記載を依頼していく。 ・登録、ケースファインディングの強化 ・がん登録実務者の育成

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県看護協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	在宅療養支援を進める	・病院・施設・地域間をつなぐ看護サービスが提供できる人材の育成 ① 在宅を支援する看護師育成研修会開催 6日・参加人数27名 ② 在宅を支援する看護師育成研修シンポジウム開催 (2月開催予定) ③ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 (1月開催予定) ④ 医療的ケア児等支援者養成研修 参加人数29名 ⑤ 医療的ケア児のための看護技術研修 (在宅領域) 参加人数23名 ⑥ 医療的ケア児に関する研修 (3月開催予定) ・各機関と連携した訪問看護師の人材育成体制の推進 ① 訪問看護就業サポート事業：訪問看護体験受け入れ 4名 ② 訪問看護出向事業：出向受け入れ 1名 ・アドバンスケアプランニングに関する研修 ①地区支部事例検討会「ACPを学ぼう」 12名 ②地区支部研修「事例から考えるACP」 58名 ③ACP研修 23名 ・多職種事例検討会 がん、高齢者等の事例をもとに看護職、ケアマネージャー、MSWなど多職種で在宅療養の支援に向けた事例検討を行っている。	《課題》 ・がん看護に特化した研修は開催していない。 《今後の取組》 ・様々な機会を通して、がん患者の在宅療養支援について広報していく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県看護協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・町内会まちの保健室を開催し、地域住民の健康相談に対応している。また、訪問看護についてもリーフレット等を活用して広報している。 第1回 7月 参加なし なんでも健康相談 第2回 9月 12名 骨健康度測定、訪問看護 等 第3回 11月 24名 災害時の応急処置	《課題》 ・町内会へのチラシ配布、公民館へのポスター掲示など、広報している。災害対応等テーマが明確な場合は参加者が多いが、健康相談は参加者が少ない。 《今後の取組》 ・高齢化が進む地域で、健康に関する情報提供ができるよう引き続き取り組んでいく。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野

高知県総合保健協会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	—	向上
年齢調整罹患率	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	—	減少
20歳以上の喫煙率	男性27.0%、女性6.4%	男性27.0%、女性6.4% (R4)	—	男性20%以下、女性5%以下
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6%	家庭(ほぼ毎日)5.0%、職場(月1回以上)19.0%、 飲食店(月1回以上)9.6% (R4)	—	家庭(ほぼ毎日)3%以下、職場(月1回以上) 10%以下、飲食店(月1回以上)4.8%以下
生活習慣病のリスクを高める量を を飲酒している人	男性16.8%、女性9.6%	男性16.8%、女性9.6% (R4)	—	男性15%以下、女性7%以下
運動習慣者の割合	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7%	20～64歳 男性25.5、女性21.8% 65歳以上 男性58.2%、女性36.7% (R4)	—	20～64歳 男性30%以上、女性30%以上 65歳以上 男性62%以上、女性50%以上
野菜摂取量(1日当たり)	274g	274g (R4)	—	350g以上
肝炎検査の受検者数	B型1,477人、C型1,471人	B型1,477人、C型1,471人 (R4)	—	増加
肝炎陽性者の精密検査受診率	77.8%	77.8% (R4)	—	90%以上
HPVワクチン接種率	29.9%(R3)	29.9%(R3)	—	全国平均を超える

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・危険因子となる生活習慣が改善している ・がんの原因となる感染症が抑制されている	学校教育におけるがん教育を進める	令和6年度がん教育（出前授業）計画 【生徒・学生】 外部専門講師と子宮頸がん経験者から、がんの正しい知識といのちの大切さを直接学ぶ機会を計画し、県内の私立・国立約20校に開催の呼びかけを実施。今年度は開催希望校がなく次年度に持ち越すこととした。 【大人】 大人に対するがん教育「がんの学び舎」を民間企業1社で開催し、従業員117名にがんに関する知識の普及を目的とした研修を実施。	《課題》 今年度は私立・国立校から開催の希望がなく開催を断念した。開催時期等、各校とのスケジュール調整に苦慮している。 《今後の取組》 ・次年度の学校行事が決定する前に各校に呼びかけを行い、開催校の選定を行う。 ・大人に対するがん教育に関しては、健康経営に取り組んでいる事業所を中心に開催を呼び掛ける。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

1 がん予防分野	高知県総合保健協会
----------	-----------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)【再掲】	男性183.96、女性88.30 (全国平均 男性160.00、女性93.56) (R3)	男性166.33、女性89.15 (全国平均 男性154.37、女性93.51) (R5速報値)	D	男性 全国平均より減少 女性 R3より減少
がん種別5年生存率【再掲】	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	67.5%(院内がん登録2014-2015年症例)	D	向上
年齢調整罹患率【再掲】	387.2(2019年値)	387.2(2019年値)	-	減少
がん検診の受診率 (40～50歳代)	肺59.2%、胃41.6%、大腸46.6%、 子宮頸47.4%、乳51.7%	肺60.2%、胃40.2%、大腸48.0%、 子宮頸48.5%、乳52.9%(R5速報値)	D	60%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域)	肺90.4%、胃91.7%、大腸84.6%、 子宮頸80.0%、乳96.6%(R2)	肺88.6%、胃93.0%、大腸83.9%、 子宮頸82.4%、乳93.9%(R3)	D	90%以上
がん検診の精密検査受診率 (地域・職域)	肺71.4%、胃62.0%、大腸56.6%、 子宮頸57.7%、乳89.9%	肺74.0%、胃59.3%、大腸54.7%、 子宮頸63.6%、乳92.5%(R5速報値)	D	90%以上
市町村チェックリスト実施率	肺90.9%、胃90.5%、大腸89.4%、 子宮頸90.3%、乳90.9%	肺87.8%、胃87.8%、大腸87.3%、 子宮頸87.7%、乳88.2%(R4)	D	向上
がん発見率	肺0.04%、胃0.05%、大腸0.11%、 子宮頸0.02%、乳0.29%	肺0.04%、胃0.06%、大腸0.12%、 子宮頸0.03%、乳0.31%(R5速報値)	C	向上
陽性反応の中度	肺3.11%、胃2.02%、大腸2.76%、 子宮頸1.9%、乳7.1%	肺3.43%、胃2.7%、大腸2.67%、 子宮頸2.0%、乳7.9%(R5速報値)	C	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんの死亡率が減少する ■がんの罹患率が減少する ・科学的かつ効率的な受診勧奨を行い、検診受診率が増加している ・精度の高いがん検診が実施されている	がん検診の受診を推進する	・ホームページや当協会広報誌でがん検診の意義・重要性の啓発を実施 ・高知県が開催する「がんスタディデイ」に子宮頸がん検診車を派遣し、無料検診及び検診車の見学を実施 ・高知ファイティングドッグスが開催するイベント「ピンクリボンディ」に参加し、乳がん視触診モデルを使ったプレストアウェアネスの推進や冊子の配布などにより、乳がんの早期発見・早期治療を呼び掛けた。 ・若い世代をターゲットとした「子宮頸がん検診」の受診促進CMを作成し、9月に東宝シネマズ高知にて9スクリーン計701回放映した。 ・県下市町村にweb予約システムを推進し3市で導入が決定。1市は10月より運用開始しており、残り2市についても2月中旬頃から稼働予定。	《課題》 啓発活動によりがん検診の受診を思い立った県民が、すぐに行動に移せるよう「web予約システム」を導入し、効果を出せる仕組みづくりが必要だと考える。
	がん検診の精度向上を進める	・要精検対象者に送付する通知書に精密検査医療機関リスト(県ホームページ)を二次元コードにて掲載するなど、精検対象者が受診の必要性を感じ、行動変容に繋がるような内容に更新。 ・健診受診後のフォローアップとして、希望する事業所に健診結果の分析情報を提供。事業所側が把握できない各がん検診結果について「要精密検査」の通知を受けたときは必ず医療機関を受診するよう従業員向けに周知を依頼 令和5年度職域(保健協会実施分)がん検診精検受診率(6年10月集計) 肺70.9%(前年比↓2.0%)、胃58.0%(前年比↓0.4%)、大腸50.7%(前年比↓0.2%)、乳94.1%(前年比↑5.6%)、子宮71.8%(前年比↑7.5%)	《課題》 ・職域健診において、肺がん(胸部)以外のがん検診は、労安法の法定外項目であることから、本人の同意なく事業所に対して検診結果の提供ができないため、事業所と一体となった精検の受診勧奨が難しい。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野	高知県訪問看護連絡協議会
----------	--------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	在宅療養支援を進める	- 訪問看護スタートアップ研修 在宅緩和ケアの実践 開催2回/年・参加者19人 - エンドオブライフケア研修 参加者20人 - 在宅医療論、在宅における薬剤管理 参加者17人	《課題》 - 地域包括ケアの推進、構築とともに益々地域での暮らしを支える為に在宅療養の推進が期待されている。年々訪問看護における受容は増している半面、看護協会での研修をはじめ在宅でのエンドオブライフケア及び、緩和ケアに特化した研修が少なくなっている。 - 中山間地域は医療資源が少なく、がん末期などの利用者が住み慣れた地域で最後まで療養できるように訪問看護の質の向上などの基盤確保が急務となる。 - 今後も訪問看護連絡協議会、看護協会と協働し体制強化をしていく必要がある。 《今後の取組》 - 上記の課題を踏まえて、訪問看護連絡協議会、看護協会と協働し基盤を整えていく - 令和7年度に県立大学主催にてELNEC在宅版の研修を開催予定としている。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野	高知県理化学療法士協会
----------	-------------

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	・県内医療施設のリハビリテーションに関する実態調査（がんのリハビリテーションも含む）実施予定 ・当協会ホームページで一般向け広報実施	《課題》 ・個々の会員施設での詳細な取り組み内容が明示できない。 《今後の取組》 ・QRコード等の掲載にて核施設の広報媒体へアクセスできるような取り組みを行いたい。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県医師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	- 令和5年7月現在の訪問診療医療機関は16病院、18診療所、合計34施設である。 - 令和6年8月1日時点での禁煙外来開設医療機関数は95である。 「高知あんしんネット」への患者登録と医療機関等の参加を働きかける。 - 各地域の在宅医療・介護連携推進事業への会員参加を継続する。 - 高知県医師会は、めざす姿に資する直接的な取組は行なっていないが、厚生労働省等からの関係する通知や研修会案内を高知県医師会報やホームページを通して会員に周知している。	《課題》 - 会員は、がん患者さんへの医療や包括的な支援について理解を深めていく必要がある。 《今後の取組》 - 現在の取組を継続し、上記課題に対応する。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	診断時からの適切な緩和ケアが受けられる	・ 令和7年2月24日に全国共通がん医科歯科連携講習会を開催予定	《課題》 ・ 平成25年度より開催しているが、最初の2、3年で約半数（217名）の先生が受講して登録歯科医師となっている。令和2年度から第2版となっているが、受講者数は毎年10人程度となっている。 《今後の取り組み》 ・ 受講者数が年々減少しているので、講演内容等の変更・見直しを検討する。
	在宅療養支援を進める	・ 在宅歯科連携室中央（総合あんしんセンター内）、幡多在宅歯科連携室（四万十市立市民病院内）、東部在宅歯科連携室（安芸市総合社会福祉センター内）で稼働中。 ・ 窓口受付の1/3程度の方が利用している。利用者数は、中央窓口は令和5年度57件、6年度は52件（11月現在）、幡多窓口は令和5年度143件、6年度は76件（11月現在）、東部は令和5年度29件、令和6年度は25件（11月現在）。	《課題》 ・ 他のサービスの準備が大変なので、歯科に関しては口腔内の状態が悪くなってからの依頼が多い。 《今後の取り組み》 ・ 口腔内の状況が悪くなる前に、できればもう少し早い段階で介入できるよう関係者と相談することを検討する。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県歯科医師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けられることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・四師会や毎月開催する四師会情報交換会で意見、情報等の交換・共有 ・他の医療関係団体等の協議会、研修会への参加。チラシ等による研修会開催の周知をしている。	《課題》 ・まだまだ、医科歯科の連携が十分でないと思われるため、今後は薬科・看護との連携も強化していく必要がある。他医療関係団体への研修会の参加も少ないように思われる。 《今後の取り組み》 ・がん診療を行う病院・関連医療機関との連携を密にしていく。研修会開催の周知強化。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県薬剤師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活 の場で安心して暮らすこと ができる ・ライフステージに応じた 療養環境への支援が受けら れている	診断時からの適切な緩和 ケアが受けられる	・高知版地域包括ケアシステムにおいて、薬剤師・薬局が医療機関の薬剤師や多職種と連携して、在宅患者の服薬支援を強化する体制を構築 ・在宅医療に携わる薬剤師の養成とスキルアップを地域ごとに実施 ・高知型薬局連携モデルとして、広域の薬局が連携して補い合う体制を整備 ・地域に在宅訪問指導薬剤師を設置し、在宅対応可能な薬剤師を養成 ・患者の入・退院時における薬業連携を開局薬剤師、病院薬剤師合同研修会等を開催し推進 ・訪問薬剤管理指導対応可能薬局のリストを更新し、多職種連携を推進 ・薬局薬剤師と病院薬剤師が連携ツールを活用することで、がん患者を含む患者に入退院時、在宅時の服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を実施 ・多職種との連携定着を図った（医師、歯科医師、看護師、ケアマネ等との意見交換） ・高知県薬剤師会在宅連携室の運営 【開催及び参加予定】 ・高知がん診療連携協議会 がん薬物療法部会 講演会 R6/8/19（月）参加者62名（薬剤師 22名）	《課題》 ・薬業連携のための情報ツールの活用 ・多職種連携の推進 《今後の取組》 ・薬業連携の推進（あんしんネット、トレーシングレポートの活用）を図る。 ・薬業連携に関する研修会の開催（R7.5月予定） ・在宅訪問薬剤師の育成及びスキルアップ研修（10月以降開催予定）
	在宅療養支援を進める	「irAE 症例共有」 「進行再発の胃癌薬物療法における最近の話題」 ・高知県病院薬剤師会がん専門部会講習会 R6/9/28（土）参加者21人 「がん化学療法に特化したトレーシングレポート導入による臨床的評価」 「かかりつけ機能と継続的な服薬フォロー」 「愛媛県の取り組み 県内統一トレーシングレポート（がん）～エンハーツの適正使用推進も含めて～」 ・薬剤師のための幡多地域連携の会 R6/11/26（火）参加者7人 「大腸がんの薬物療法と有害事象マネジメント」 「中小病院から発信するがんを支える薬剤師育成と業務マネジメント」 ・幡多薬剤師地域連携研修会 10/22（火）参加者18名 「はたまるねっとを利用した薬業連携」 ・高知がん診療連携協議会 第1回がん薬物療法部会 看護師ワーキング（予定）R7/1/9（木） ちよテラホール/ハイブリット開催（WEB・対面） ・在宅訪問薬剤師の育成及びスキルアップ研修（予定）R7/1/26（日）予定100名 「ACPの普及に係る薬剤師への期待」 「在宅緩和ケアで使用される薬剤の特徴と実際」 「薬剤師さんと一緒に緩和ケア治療」	

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

3 共生分野

高知県薬剤師会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)
受けた治療等に満足している患者の割合	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の認知度	36.6% (R5)	36.6% (R5)	—	向上
がん相談支援センター等の相談窓口の利用者で役に立ったがん患者の割合	89.3% (R5)	89.3% (R5)	—	向上

S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・身体的・精神的苦痛が軽減され、療養生活を送ることができる	がんの相談支援を受けることができ、自分にあった正しい情報が得られる	・四師会や毎月開催する四師会情報交換会で意見、情報等の交換・共有 ・他の医療関係団体等の協議会、研修会への参加 ・高知家健康づくり支援薬局の整備（高知県内314件：令和6年10月現在）	《課題》 ・薬業及び多職種連携の推進 《今後の取組》 ・多職種連携の推進を図る（情報ツール等活用、スキルアップ研修、多職種合同の研修会参加）。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県介護支援専門員連絡協議会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
					D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	在宅療養支援を進める	・アピアランスケアに係る相談や情報提供体制構築（アピアランスケアについては介護事業所に勤務する者や一般のがん体験者より持ち寄りの帽子をメインに低所得者者に無償提供の実績が3件ある。）今後県立あき総合病院でのがん患者の会等でもその取り組みについて広報をしていく方向。 ・介護支援専門員連絡協議会研修会等の実施はできていない。 ・安芸圏域において、現在のがん治療中の2名のケアマネジャーに対する働き方について話し合いが持たれた。（治療を行うために休職が必要であるが、介護人材不足で引き継ぐケースの受け取り手がない等、業務継続をするための課題がある。地域の中で支え合うためにはどのような体制や取り決めが必要か等について、今後も継続して検討していきたい等の話がなされた。）	《課題》 ・高知県全体としての取り組みが実施できていない。 ・安芸圏域では看取り期に入った方の受診時のアピアランスケアや、自宅での生活へのアドバイスを試みたが、免疫力低下のある患者に担当介護支援専門員以外の者が介入することが出来なかったことを踏まえ、担当となる介護支援専門員に対する啓発を要する。 ・がんを罹患している低所得層への個別対応として、生活困窮者の救済取り組みが必要な事案が見受けられた。 《今後の取組》 ・課題解決に向けて、県下がん患者の会やがんの拠点病院、在宅療養者に向けた取り組みの広報を行う。 ・アピアランスケア、見た目を気にせずにくつになっても綺麗でありたい、外に出たいという意欲が沸くような取り組みを図っていきたい。

第4期 高知県がん対策推進計画の取組状況

2 がん医療分野

高知県ホームヘルパー連絡協議会

指標	基準値 (R4)	現状値	達成度 (※)	目標値 (R11)	
受けた治療等に満足している患者の割合【再掲】	72.2% (R5)	72.2% (R5)	—	向上	S 数値目標の達成率 110%以上
緩和ケアチームのある医療機関数	11機関 (R5)	11機関 (R5)	—	増加	A 数値目標の達成率 100%以上110%未満
					B 数値目標の達成率 85%以上100%未満
					C 数値目標の達成率 70%以上 85%未満
緩和ケアの実施件数	1,386人 (R2年9月)	2,151人 (R5年10月)	—	増加	D 数値目標の達成率 70%未満
					— 達成度の判断が困難なもの

めざす姿	個別施策	令和6年度の取組状況	課題と今後の取組
■がんになっても日常生活の場で安心して暮らすことができる ・ライフステージに応じた療養環境への支援が受けられている	在宅療養支援を進める	・がんについてのeラーニングを会員は無料で聴講できるようにしている	《課題》 ・集合研修でのがんや終末期等についての研修ができていない。しかし、集合研修へ集まることがヘルパー不足等の要因で困難なため工夫が必要。 《今後の取組》 ・集合研修での集客が難しいため、さらに、オンラインの充実を図り、がんに関する知識等を深め、がん患者が在宅で安心して暮らすための支援や連携について学べる環境作りを目指す。